

研修会「住民主体の居場所を育てる」実施について（概要）

当研修会は、令和2年度厚生労働省老人保健健康増進等事業（老人保健健康増進等事業）「地域特性を踏まえた生活支援ニーズへの対応及び地域活動の継続に係る調査研究事業」の一環として、下記のとおり全国3か所で実施します。

住民主体の居場所を育てる ～地域の力で居場所を持続可能にするために～

◆開催目的： 地域資源を<見つける>・仲間を<つなげる>・様々なサービスを<生み出す>可能性のある居場所の機能に着目し、高齢者など地域住民が相互に支え合う居場所づくりを普及させる。

◆対象： 住民組織開発に関わる全ての方（生活支援コーディネーター、自治体職員の方、社会福祉協議会・ボランティアセンター等の生活支援サービス提供団体を支援している組織・機関の方）

◆場所・開催日：

[高松] 2020年12月22日（火） 香川県 社会福祉総合センター

[大阪] 2021年1月6日（水） 東成区民センター 大ホール

[東京] 2021年2月15日（月） 全国町村会館 ホール

※オンラインでは、高松会場開催のプログラムの一部のみ視聴可能です。
オンライン視聴をご希望の方は高松会場の回へお申し込みください。

◆時間： 各回共通 開始 午前10時 閉会 午後4時

◆プログラム：

10:00~10:00 開会

10:05~10:30 基調講演 「住民主体で多機能な居場所をつくる」

内藤佳津雄氏（日本大学文理学部教授／本事業研究委員会委員長）

10:30~12:00 事例報告 「地域特性を生かしたプラットフォーム型居場所の事例」

[高松] ①地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」河田珪子氏（新潟市）

②「小規模多機能自治」のとりくみ

雲南市政策企画部地域振興課、「新市いきいき会」小林和彦氏（島根県雲南市）

③「居場所からつながる 居場所へつながる ～人のチカラが集まる場～

善通寺市社協 善通寺市地域支え合いセンター ここ家から」

善通寺市社会福祉協議会 村井美保氏（香川県善通寺市）

[大阪] ①多世代の居場所「ユニバーサルステーション」(東京都荒川区)
「子ども村：中高生ホッとステーション」代表 大村みさ子氏
②東灘こどもカフェ「こもれど」代表 中村保佑氏(兵庫県神戸市)
他、調整中

[東京] ①地域包括ケア推進モデルハウス「実家の茶の間・紫竹」河田珪子氏(新潟市)
②地域食堂「ゆめみ〜る」山田正幸氏, 登別市社会福祉協議会
他、調整中

13:00~14:00 パネルディスカッション 「居場所を育てるための支援とは」
14:00~15:50 ワークショップ 「いまある強みを活かして多機能な居場所を育てよう」
① 地域資源と地域特性をみなおそう
② 居場所の価値をチェックしよう
15:50~16:00 総括・閉会

◆お申し込み方法：

リンク先のフォームへ入力、又は、下記のお問い合わせ先までお電話ください。

[高松] 2020年12月22日(火) <https://forms.gle/afawTgniHtmJT1HA7>

[大阪] 2021年1月6日(水) <https://forms.gle/2gTUZLRx8zUdMY21A>

[東京] 2021年2月15日(月) <https://forms.gle/e32V6BTdvQRQVbjXA>

※定員は50名[高松]、100名[大阪]、90名[東京]程度(※先着順、予約制)

◆事業名： 令和2年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域特性を踏まえた生活支援ニーズへの対応及び地域活動の継続に係る調査研究事業」

◆事業主旨： 居場所をプラットフォームにした住民参加による生活支援が実践されているモデルを収集し、居場所の機能や地域特性、多様な既存の機関との連携による地域資源の開発・活性化の方法を整理する。多世代を支援する居場所づくりを普及し、持続可能な活動として定着させるためのノウハウを伝える。

◆主催： 一般社団法人全国食支援活動協力会

<お問い合わせ先>

一般社団法人全国食支援活動協力会

〒157-0067 東京都世田谷区上用賀 6-19-21

TEL：03-5426-2547(平日10:00~17:00) FAX：03-5426-2548

Eメール：infomow@mow.jp

担当事務局：伊藤、前川